

川尻明湖会

春は遠足「あるけあるけ大会」

広報委員 森 勉

令和六年五月十二日（日）、晴天に恵まれて「あるけあるけ大会」が催されました。

老若約九十人の参加者は、午前九時の出発に合わせて川尻公会堂に集合しました。

行先は梅田親水公園、片道約五・五km、往路のみ新池経由です。交通誘導係さん先導のもと、おしゃべりを楽しめるペースで歩いて行きます。途中の休憩時間も含め二時間弱で、谷あいには造られた新池の堤防道に進入です。

広い池の水面と背後の新緑、目を転じて見渡せる湖西から二川一帯の景色、どちらもご褒美のようで遠足気分は高まります。

堤防道を出て坂を下るともうそこは親水公園。先発隊が公園の広場に用意してくれたテント、ブルーシート、明湖会の標語旗も見えます。広場に入場後は、お茶やお菓子のサービスを受け、全員の到着を待って点呼、その後、正午までの約一時間はお弁当タイムです。

その間にも正午からのゲーム（今回は子ども会担当のビンゴと万年青年会担当の輪投げ）係さんは準備に大わらわです。驚いたのは輪投げのレーン作り。長い長い棒尺も登場して厳格なレーンが三本、広場に完成しました。

更に驚いたのは、その輪投げゲームの本番や遊びの中で、得点九点を連発する神童や、名人が現れたことです。写真は名人の連続九点が途切れたシーン（だと思えます）。

帰りは午後一時に出発し、全員無事笑顔で予定の時刻に帰着しました。ご協力いただいた各団体役員さんにお礼を申し上げます。

今回のMVPを選ぶとしたら、ベビーカーにお子さんを乗せて完歩なされたお母さんで決まりでしょう。お疲れさまでした。お子さんも歩いての参加、待ち遠しいですね。

最後になりますが、途中休憩でご対応いただきました上ノ原自治会様と親水公園の管理を担っておられます梅田自治会様に紙面を借りてお礼を申し上げます。

